

## 日本医用マスペクトル学会・男女共同参画に関するお知らせ

### — 男女共同参画委員会だより（第一回） —

日本医用マスペクトル学会は、性別にかかわらず、個性と能力を発揮できる社会を実現するために、男女共同参画推進の取り組みを行うことにしました。まず、男女共同参画の現状を認識し、その情報を会員が共有する必要があるため、男女共同参画活動に関する情報を随時お知らせしていきます。

\*\*\*\*\*

平成 11 年に「男女共同参画社会基本法」の公布・施行後、男女共同参画基本計画に基づいた取り組みが推進されております。その中で、「男女共同参画学協会連絡会」は「学協会間での連携協力を行いながら、科学技術の分野において、女性と男性が共に個性と能力を発揮できる環境づくりとネットワーク作りを行い、社会に貢献すること」を目的として精力的に活動しています。

「男女共同参画学協会連絡会」が 2013 年に「第 3 回大規模アンケート・科学技術系専門職の男女共同参画実態調査」を実施し、その結果を報告しております。79 の質問に対し、回答者は男性 11,958 名、女性 4,356 です。そこから一部（pp 51-54）を抜粋しました。

- 1 役職の男女差
  - ・ 役職の男女差は、前回と比較してさほど改善されていない。
- 2 男女共同参画を推進するためには、
  - ・ 男女ともに「男性の意識改革」を挙げる人が多い。
  - ・ 「女性の意識改革」の比率が、前回より大きく増加した。
  - ・ 「男性の家事・育児参加」を求める比率も極めて多い。
  - ・ 「育児・介護支援対策」「職場環境整備」を求める声も多い。
- 3 男女ともに、男女共同参画は進んでいると感じている。

この報告書は、連絡会のHP (<http://www.djrenrakukai.org/index.html>) で公開されていますので、ぜひご覧になってください。